

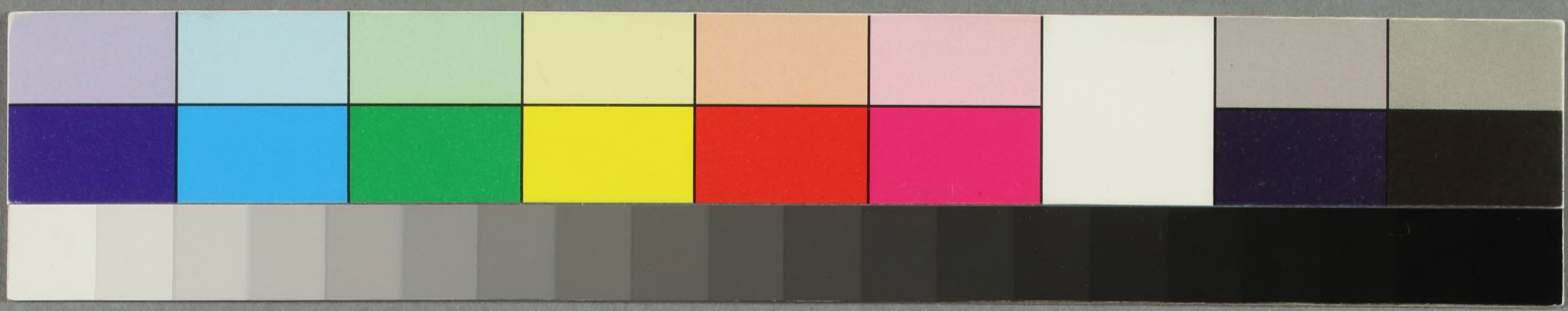
役者兔半柄
大坂

役者兔半柄
京都

化被

特別
千13
3849
51





●一寸とちびり上まら

一節年江戸芝居形を述べたる三巻
とも抄掛添紙をきくと成り合致りしは不
沙の延びるにこそしきま成儀を記す
内小巻と品定の局が合まぬる身先巻を
斗を並出ししに江戸と色にちがひ
一節し細字を以て成り合致りしは
下まらませり一寸とちびり上まら

門子 18
巻 3849
巻 51

優者免れ手柄
養子

東之喜国縁
鴻出

四糸連の

はなはな

あやう

あやう

あやう

清巻へよ記

せりぬの

名桐子



娘が先かき

時代又つ

新まの

粗云

のり

星作り

大子柄

京言葉西芝居お役者目録

名代 舞衣茶屋 住中中山末助

●見立風づくしある九のどし

▲お美首

極上吉 嵐 雛助

▲立役と那

上上吉 申村十彦

上上吉 中山末助

上上吉 嵐 山十布

上上吉 名代次郎三

上上吉 市井各権十布

上上吉 市井各権十布

上上吉 市井各権十布

上上吉 市井各権十布

上上吉 市井各権十布

西風

上上吉 辰川八 彦
彦れもつをひきさての多い時花風

▲実恩歌後之部

上上吉 辰川八 彦
大場を仕出させつる辰川風

上上吉 辰川八 彦
辰川を仕出させつる辰川風

上上吉 辰川八 彦
辰川を仕出させつる辰川風

上上 山下俊太郎
去年よりあまの瀬の北風

上上 尾上 劫四郎
去年よりあまの瀬の北風

上中 山崎三郎 上嵐 権十郎

上山下 兵吉 上辰川 幸十郎

上嵐 七彦 上中村 伴八

上上吉 中村 歌志忠
辰川 辰川の名を吹つる辰川風

上上吉 辰川 彦松
辰川 辰川の名を吹つる辰川風

上上吉 芳沢 いらば
お教ある辰川を吹つる辰川風

上上 中村 のり月
辰川 辰川の名を吹つる辰川風

上上 辰川 彦松
辰川 辰川の名を吹つる辰川風

上上 辰川 彦松
辰川 辰川の名を吹つる辰川風

上上 辰川 彦松
辰川 辰川の名を吹つる辰川風

上上 辰川 彦松
辰川 辰川の名を吹つる辰川風

上上 辰川 彦松
辰川 辰川の名を吹つる辰川風

夏川竹屋 出 一 徳塚金彦 中 日
 嵐屋 出 中 一 花桐元吉 日
 湯川梅屋 日 一 中村嘉之助 日
 夏川龜 日 一 尾上金吉 日

差支 札
 奉書 中村 富十 市
 今之 在 津 又 上 乃 矣 天 傳 凡

相云 他者 之 部
 並本 十 棟
 辰 岡 急 助
 中 村 嘉 助
 田 原 嘉 市
 夏 川 比 良
 竹 井 半 二

是

一 夏川竹屋 出 之 者 也 中 芝 右 助 也
 土 月 八 日 夜 合 在 中 芝 右 助 也
 中 芝 右 助 也 細 得 以 其 永 以 中 芝
 右 助 也 乃 孫 也 乃 乃 乃 也

夏川竹屋 出 之 者 也 中 芝 右 助 也

立役 大和山仙助
 日 三 井 大 三 市
 日 浅 尾 三 十 市
 立役 家 次 松 之 助
 款役 湯 川 友 八 市
 立役 夏 川 伴 勢 松
 立役 中 村 虎 彦



かわりて遷居の事なきを常々の事
 家^の内^の事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 十^の九^の事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 中^の事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 恒^に事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 本^の事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 人^の事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を

へん^の事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 ひ^の事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 夫^の事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 純^の事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を
 事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を知^らず^に居^る事^を

天竺の事
 中世の事

八文舎
 俗者 自笑

此の書は... 中村十彦... 肝心... 直役之部

肝心... 直役之部

上上吉 中村十彦

此の書は... 中村十彦... 肝心... 直役之部



と愛し給はるる御心は
後より一歩も引かぬ
美しき御心は
上上吉

上上吉 ④ 奇 八

圓を考へて
油の土を
赤の土を
黄の土を
白の土を
黒の土を
青の土を
赤の土を
白の土を
黒の土を
青の土を

上上 ① 赤尾伸 卷

四の次
五の次
六の次
七の次
八の次
九の次
十の次
十一の次
十二の次
十三の次
十四の次

上上 ⑥ 下後天布

四の次
五の次
六の次
七の次
八の次
九の次
十の次
十一の次
十二の次
十三の次
十四の次

上上 ④ 尾上劫尾布

四の次
五の次
六の次
七の次
八の次
九の次
十の次
十一の次
十二の次
十三の次
十四の次

上上 ④ 申卦文布

四の次
五の次
六の次
七の次
八の次
九の次
十の次
十一の次
十二の次
十三の次
十四の次

調子... 横山... 荒木... 俊... 乙... 事... 下...

▲善女形部

上上吉 花相 復松

善女形部... 花相... 復松... 乙... 事... 下...

善女形部... 乙... 事... 下...

上上吉 指 芳次 乙 乃 乙

指 芳次 乙 乃 乙... 乙... 事... 下...

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dense, flowing style across approximately 15 lines. Some characters are enclosed in small square boxes, possibly indicating specific names or titles. The ink is dark and the paper shows signs of age.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dense, flowing style across approximately 15 lines. Some characters are enclosed in small square boxes, possibly indicating specific names or titles. The ink is dark and the paper shows signs of age.

の事なきを以て言ひていふ事ありては
素直なるを善美其形に似て

一寸とありし上中

之を律儀品定

作者自矢

二乃智大活判

作者之部教

全三冊

附

法と世を屋のわらわさり

お家とまゝくお相言は

ちくちくまゝん之月より

ちくちくまゝん之月より

ちくちくまゝん之月より

大正三年

卯正月吉日

東京海院三乗寺所

文字屋公家書板

後者鬼村手柄

藤原家

大坂之書目録

是の形跡は

一友

仲人

松原乃

佐助

さらして

物

原立の

大志うけ

法ほり入い物ものが

眼めをを 押おささるる

夜い黨しやうの

花はなややカ

只ただよよんんくくと

町まち中ちゆうかん

丸まるささここい

足たちち又あ女にははれ

大お子こ柄がら

大坂おおさか三さん豆まめ居い居い者もの目め録ろく

名代なしろ権けん左さ衛ゑ兵べい衛ゑ 名代なしろ大だい坂さか右みぎ衛ゑ兵べい衛ゑ 名代なしろ大だい坂さか左ひだり衛ゑ兵べい衛ゑ 名代なしろ大だい坂さか右みぎ衛ゑ兵べい衛ゑ 名代なしろ大だい坂さか左ひだり衛ゑ兵べい衛ゑ

△三さん役やく之の部ぶ

極ごく上じやう吉きち 尾お上じやう菊きく又また布ふ 七しち 又また布ふ 日にち 注しゆ

上じやう吉きち 嵐らん 三さん又また布ふ 日にち 注しゆ

上じやう吉きち 三さん本ほん後ご左さ出で門もん 日にち 注しゆ

上じやう吉きち 尾お上じやう新しん 七しち 注しゆ

上じやう吉きち 嵐らん 文ぶん又また布ふ 日にち 注しゆ

上じやう吉きち 三さん本ほん大だい又また布ふ 日にち 注しゆ

上じやう吉きち 條じょう松しょう七しち之の布ふ 日にち 注しゆ

ゆとあうさうりものある物三層

上上吉 嵐 新 平 為 陸

上上 中山 化 為 陸 日 陸

上上 今村 七之 布 日 陸

上上 中村 京十 布 為 陸

上上 山下 又 右 布 日 陸

上上吉 中山 新九 布 為 陸

上上吉 浅尾 為十 布 為 陸

上上吉 坂東 岩又 布 為 陸

上上吉 坂東 岩又 布 為 陸

上上吉 加賀 登 歌 七 為 陸

上上吉 中村 浪 布 三 為 陸

上上吉 嵐 七 又 布 為 陸

上上 三升 松又 布 為 陸

上上 友川 鐘九 布 日 陸

上上 嵐 三 八 為 陸

上上 山下 虫四 布 日 陸

上上 市山 八 云 為 日 陸

上上 申村 貞次 布 為 陸

切目もこのまうふ真の八といふ

U S a m o r u n a r u m a s e i k o u

今村七之布 日陸

今村京十布 為陸

今村七之布 日陸

改るる布子も付る襪室は廣

辛味は白舞へ通り一南禅寺

味ひも一守りあり海陸じんかく

切目もこのまうふ真の八といふ

嵐ふみかみきとありて英傑とくぬ

ころころいふ味のあつこく

先是と云はれしはくせきぬ

自然有るる死にけりる源因

金沢うらうらみきとありて

歌もあつこく

さかしくししししししし

さうと云ふ勢ひをまじりて

上ト 嵐 繼 松 尾 尾

ひん 志 尾 と 一 の あ げ ぐ あ げ

上上 市山 志 尾 尾 尾

上上 嵐 化 人 尾 尾

枯 命 の う ま の み あり 合 七 尾

上 市川 志 尾 尾 尾

上 嵐 彩 之 尾 尾 尾

上上 志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

上上 山下 八百 志 尾 志 尾

志 尾 志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

▲ 嵐 尾 志 尾 志 尾

市川 志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

市村 志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

市山 志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

市山 志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

市山 志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

▲ 嵐 尾 志 尾 志 尾

一 嵐 松 尾 志 尾 志 尾 志 尾

一 嵐 仙 志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

一 嵐 芳 志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

一 市 村 志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

▲ 嵐 志 尾 志 尾 志 尾

▲ 志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

▲ 志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

▲ 志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

● 志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

志 尾 志 尾 志 尾 志 尾

● 嵐庄

京河十五之助
春木中
筒井幸之丞
大久保志吉
中川正之丞
● 支配人
京河龜助

三上

大坂中芝居並役目録

行國 德中 山崎 荒木 次郎

三夜 申山 楠 義

申村 仲 義

三林 藤 義

申山 友 九 義

水本 清 義

松本 國 十 義

嵐 三 津 義

嵐 三 津 義

次村 圃 義

申山 友 九 義

申村 友 九 義

申村 友 九 義

嵐 全 義

申村 友 九 義

嵐 全 義

申山 友 九 義

嵐 全 義

打書... 申... 撫... 十五... 種... 餘... 際... 十夜... 後... 十... 牧... 一

... 申... 撫... 十五... 種... 餘... 際... 十夜... 後... 十... 牧... 一

由是の故に...
 今も...
 物...
 中...
 清...
 種...
 小...
 元...
 人...
 藤...
 乃...
 二...
 乃...
 と...

若...
 お...
 下...
 異...
 日...
 一...
 後...
 中...
 出...
 若...
 是...
 今...
 已...
 然...

氏の本名は法隆寺にありて百廿六年に於ては二
の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては

此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては
此の夢に於ては其の夢に於ては其の夢に於ては

今其年絶望也... 乙酉二月
... 乙酉二月

乙酉二月

正月

八文合

作者自笑

○改元

... 喜以園...

後之部

極上吉

... 乙酉二月

萬國渡海 三陸渡

あじ三十五 中村宗十郎



坂東 婦川大老



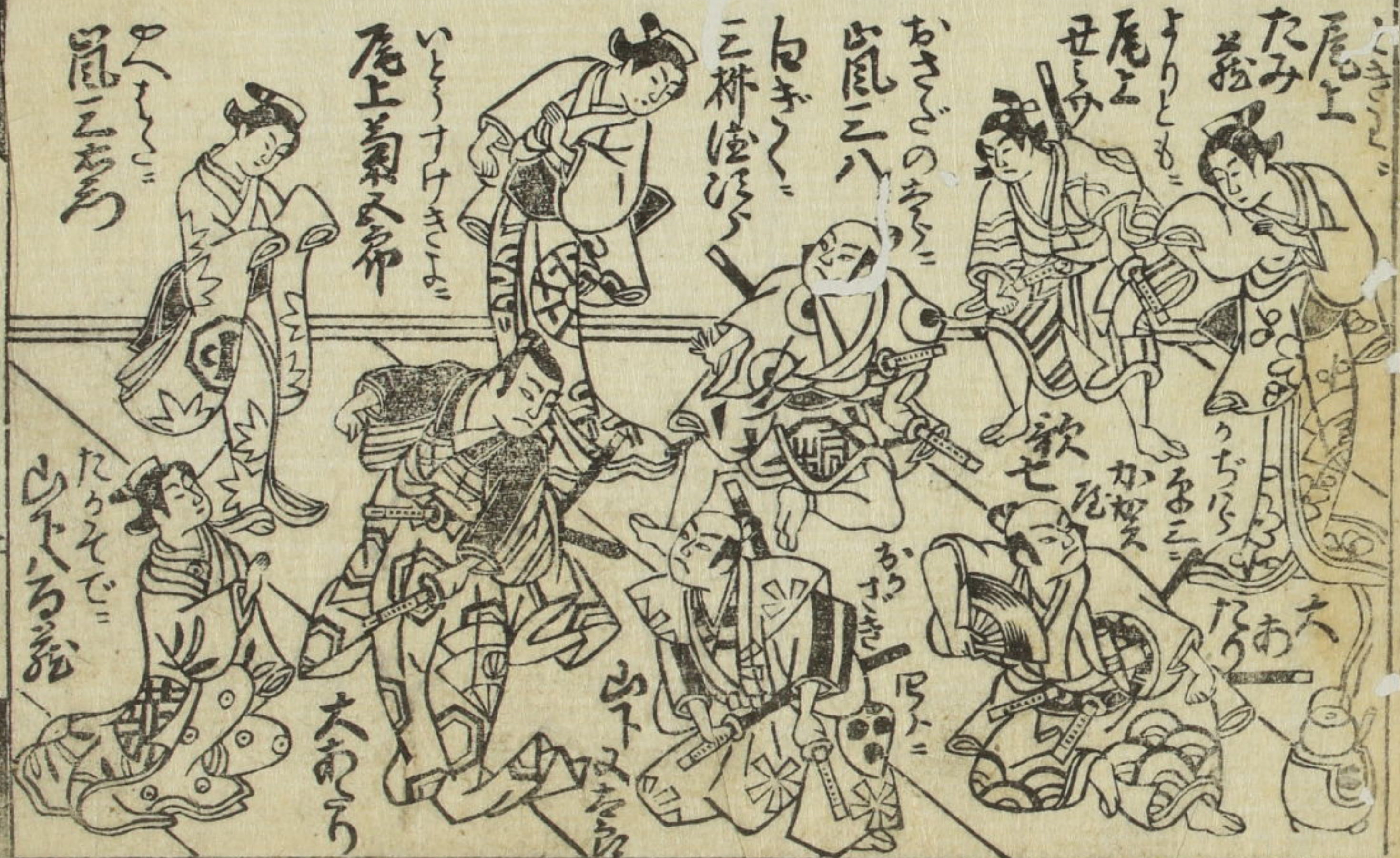
嵐七兵衛



三保木



てあがトまま



尾上

たみ

尾上

丑五

おさぎのちん

嵐二八

白きく

三井屋

尾上菊次郎

いとしけき


尾上菊次郎

尾上菊次郎


尾上菊次郎

尾上菊次郎

おろすやうに四かたあり

上上吉  嵐 新 年 為 吉

圓い交り吉の意あり、世に建てるは吉
破し建てるは吉あり、世に建てるは吉
よりの意あり、世に建てるは吉

上上  申 山 化 意 為 吉


圓い三三三意あり、世に建てるは吉
七意あり、世に建てるは吉
百の意あり、世に建てるは吉

上上  今 村 七 三 弟 為 吉


圓い三三三意あり、世に建てるは吉
七意あり、世に建てるは吉
百の意あり、世に建てるは吉

上上  申 村 京 十 弟 為 吉

圓い三三三意あり、世に建てるは吉
七意あり、世に建てるは吉
百の意あり、世に建てるは吉

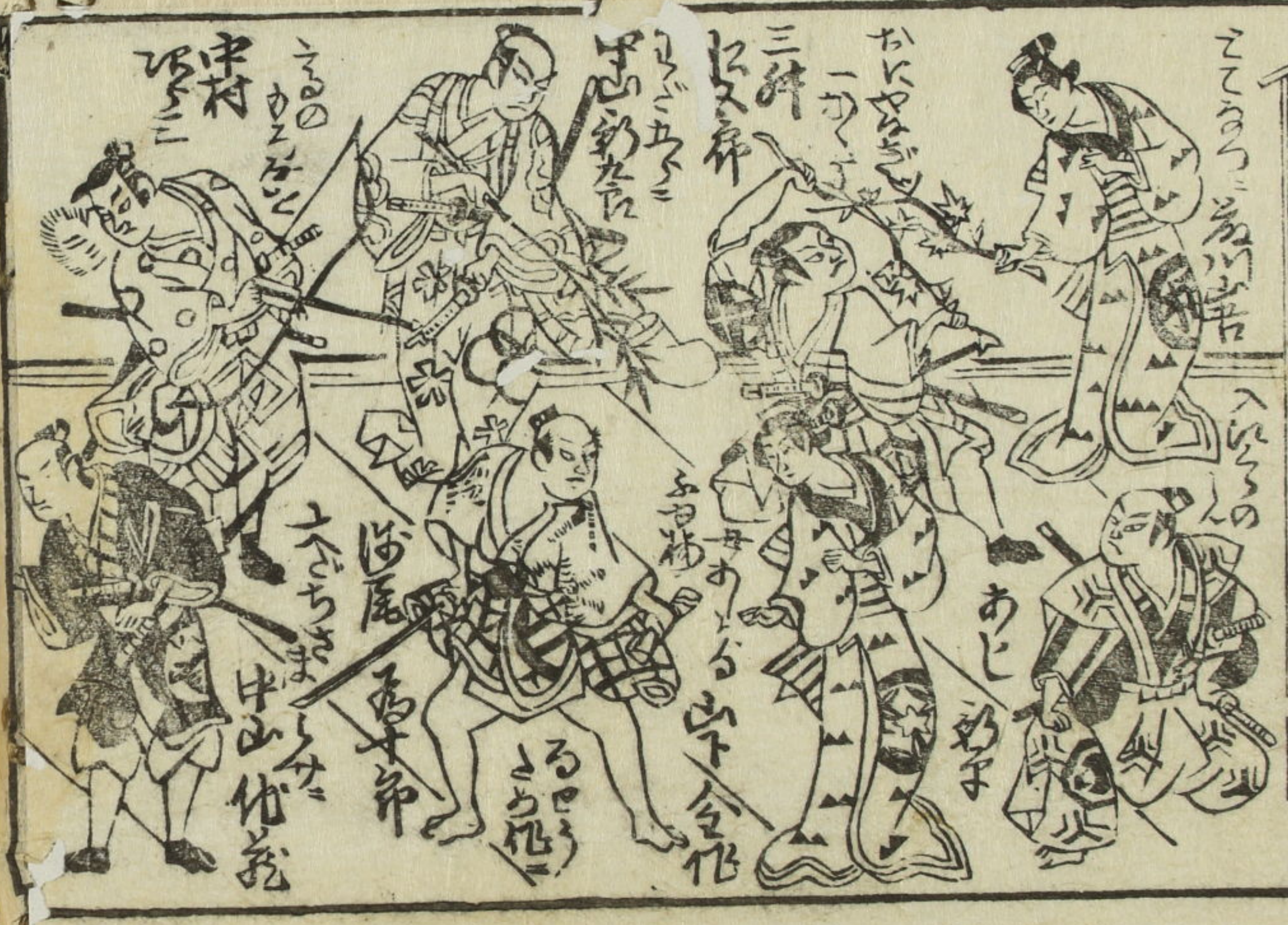
上上  山 下 又 吉 弟 為 吉

圓い三三三意あり、世に建てるは吉
七意あり、世に建てるは吉
百の意あり、世に建てるは吉

上上吉  申 山 新 九 弟 為 吉

圓い三三三意あり、世に建てるは吉
七意あり、世に建てるは吉
百の意あり、世に建てるは吉

倭文字三才圖會 卷之三 雜器



上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

▲ 芳川 邦 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

上上 女山下 玉田 邦 嵐 彦

東の東に在るは其の國の都也... 其の都の國の都也... 其の都の國の都也...
 其の都の國の都也... 其の都の國の都也... 其の都の國の都也...
 其の都の國の都也... 其の都の國の都也... 其の都の國の都也...

上吉 山科 千石 古 首...

其の都の國の都也... 其の都の國の都也... 其の都の國の都也...
 其の都の國の都也... 其の都の國の都也... 其の都の國の都也...
 其の都の國の都也... 其の都の國の都也... 其の都の國の都也...

其の都の國の都也... 其の都の國の都也... 其の都の國の都也...
 其の都の國の都也... 其の都の國の都也... 其の都の國の都也...
 其の都の國の都也... 其の都の國の都也... 其の都の國の都也...

上吉 場川大 古 首...

其の都の國の都也... 其の都の國の都也... 其の都の國の都也...
 其の都の國の都也... 其の都の國の都也... 其の都の國の都也...
 其の都の國の都也... 其の都の國の都也... 其の都の國の都也...

上上音 巖之升 徳江布 光花

四ノ音 巖中ノ音 徳江布ノ音 巖田ノ音 光花ノ音
巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音
田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音
上上音 巖 巖川 山 岩 巖田
四ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音
上ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音
巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音

上上 巖 巖川 山 岩 巖田

四ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音
上ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音
巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音

上上 巖 巖川 山 岩 巖田

四ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音
上ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音
巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音

上上 巖 巖川 山 岩 巖田

四ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音
上ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音
巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音

上上 巖 巖川 山 岩 巖田

四ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音
上ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音
巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音 巖田ノ音

此乃...
以上...

上下 ④ 嵐 雜以布 嵐

園中...
以上

上上 市山 志 嵐 人

上上 嵐 化 人

園中...
以上

上 市川 志 嵐

上 ④ 嵐 新之助 嵐

園中...
以上

上上 ④ 山下 八百 嵐

園中...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

此乃...
以上

●一寸と改訂の上巻

一尚年江戸芝居形を道くまの三巻
ともし抄抄源流まきうと友又全ありまは不
動の道門く西とくまの九巻を道くま
内小巻品定の百か合まなまの先巻を道
斗を道くまの三巻くまの三巻くまの三巻
一而く細評を道くまの三巻くまの三巻くまの三巻
下まの三巻くまの三巻くまの三巻

天明三年

卯の正月吉日

東京洞院三系上町

八文字屋八束の板

●一寸と改訂の上巻

浪花身多絵画

平安洞脈先生契

絵本水やぞ 全二冊

太公之左津の役まのあがり歌くまの三巻
可くくまの三巻くまの三巻くまの三巻
本巻の三巻

栢庭村白糸 全部一冊

市川はまを産生巻の程奇敷白と板
あつたまの三巻

華夷通商者拾遺 全部一冊
一六丁一里

ろつても付ぬまの三巻くまの三巻くまの三巻
まの三巻くまの三巻くまの三巻

畫話身多絵 全四冊

古世のうらなまの三巻くまの三巻くまの三巻
まの三巻くまの三巻くまの三巻

